
2nd circular

「PFS サイエンスワークショップ」

日時:2010年12月9日(木)10:00 ~ 12月10日(金)17:00頃まで

主催:すばる小委員会、IPMU、ハワイ観測所

場所:国立天文台三鷹キャンパス すばる棟 1F 大セミナー室(12/9), 講義室(12/10)

開催趣旨:

すばる望遠鏡の主焦点多天体分光装置(Prime-Focus Spectrograph: PFS)の開発の検討が数物連携宇宙研究機構(IPMU)を中心に検討が進められています。9月に開かれたすばる望遠鏡将来装置計画ワークショップ

<http://www.naoj.org/Projects/newdev/ws10/>

でも、PFS は議論の主テーマの一つとして取り上げられました。今研究会の目的は

(1) White Paper としてまとめている各サイエンス(宇宙論、銀河、AGN/QSO、天の川銀河、QSO 吸収線系)の活動を受け、各サイエンス班の報告を中心に、検討会の班員のみならず、一般コミュニティの方々も交えて、より議論を深める

(2) より広いコミュニティの方々からのサイエンスに関するインプットを貰う(一般講演の枠を設ける)

(3) これまでの PFS の活動状況、今後の活動方針、またすばる望遠鏡の将来装置としての PFS の役割などを議論する

参加希望の方は人数把握のために世話人にお知らせ下さい。また、PFS で可能なサイエンスに関する一般講演を希望の方も世話人にお知らせください。財源は限られていますが、旅費の援助(招待講演者および学生優先)もありますので、皆さん奮ってご参加下さい。

参考資料

<http://www.naoj.org/Projects/newdev/ws10/>

講演者(了承済み、敬称略):

今西昌俊(国立天文台)

大内正巳(東大)

唐牛宏(IPMU)

高見英樹(国立天文台)

高田昌広(IPMU)

鈴木尚孝(LBL)

田中賢幸(IPMU)

千葉柁司(東北大)

松原英雄(宇宙研)

村山齊(IPMU)

Kevin Bundy (Berkeley)

Jim Gunn (プリンストン)

John Silvermann (IPMU)

世話人

秋山正幸(東北大)

青木和光(天文台)

有本信雄(国立天文台)

岩田生(国立天文台)

高田昌広(東大 IPMU)

本原顕太郎(東大)
